

四十三万滝

四十三万滝は、この散策路の最後の主要な滝である。滝の名前は、1日に流れる平均水量が43万石（7万8千トン）であることに由来しているとされる。滝の中ほどまで岩を伝って入ることができるが、足を滑らせないように注意。このあたりの山肌には、暖かい下流域にはない冷涼な気候を好むモミヤカヤ（*Torreya nucifera*）などの針葉樹が生育しているのが見える。